

「人と生命と環境を育む京の農林業特区」



新鮮な農産物生産の役割とともに、都市における緑地空間の確保など、多様な公益的機能を有する生産緑地

農林業を取り巻く状況

- ・農林産物の価格低迷
- ・担い手の減少・高齢化
- ・病虫害・鳥獣被害の増加



農地・森林の減少や
荒廃面積の拡大



松枯れ・ナラ枯れの拡大により
変貌する東山連峰

伝統ある京野菜文化の継承プロジェクト



京の森・木のまち創造プロジェクト

京の農林業が目指すべき未来像

- 農地や森林の継続的な有効利用
- 二酸化炭素吸収につながる取組の推進
- 京都三山や農山村地域の保全・向上
- 歴史を踏まえた京野菜や木が

環境

暮らしに息づくまち

環境モデル
都市・京都
の魅力
あふれる
まちづくり
に貢献

市民が
うるおいや
ゆとりを
実感できる
環境の創出

- 生産者と消費者が顔の見える関係の強化
- 市民が京野菜や木を育てる機会の拡大
- 農地や森林に対する市民意識の向上
- 京野菜づくり・森づくり活動を通じた

人

地域コミュニティの活性化

- 様々な生き物が息づく

生命

豊かな農地や森林の整備

伝統ある京野菜文化の継承プロジェクト

これまでの本市の取組

○京の旬野菜推奨事業

- ・環境負荷が低く、減農薬・減化学肥料で栽培された野菜を「京の旬野菜」として認証するとともに、販売促進キャンペーンなどを実施し、「京の旬野菜」のブランド化を推進
- ・京都大学との連携による京都の気候風土に合った「新京野菜」の開発とともに、開発野菜種子配布センターでの種苗生産及び市内農家への有償配布等による「新京野菜」の普及・推進



○地産地消の推進

- ・市街化調整区域における農産物直売所の開設支援

○生産緑地の保全

- ・生産緑地を受益として設置される集出荷貯蔵施設の整備及び共同利用機械の導入(補助率70%)や土地改良施設の設置(補助率75%)に対する補助

○市民農園の開設支援

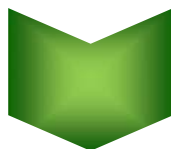
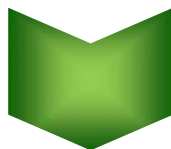
- ・市民農園やふれあい体験農園など市民が農作業を楽しめる機会を創出し、市民と農業の距離を近づけるとともに、農地の持つ多面的機能を啓発



市民でにぎわう市街化調整区域の農産物直売所（左京区大原）



ふれあい体験農園を通じた市民と農家の交流促進（北区上賀茂）



次スライドに続く

京都大学との連携により開発された新京野菜



京ラフラン



京てまり



京唐菜

今後の京都市の取組方向

○地産地消の推進

・地下鉄駅構内等に「京の旬野菜『時待ち食』直売所」を設置し、旬野菜や野菜加工品を販売するとともに、PR活動を展開

※時待ち食とは？

→「旬の時期を待って旬のものを食べる」
という最も自然で「エコ」な食生活の提案

○京野菜市民農園の開設推進

・地域主導型経営モデルとなる総合的な
体験型市民農園を整備



総合体験型市民農園イメージ

提案プロジェクトと国に求める 特例措置・支援措置

○地産地消の推進

＜農産物直売所の開設支援＞

市街化調整区域における農産物直売所建築に当たっての規制緩和

＜京野菜マルシェの開設支援＞

生産者が歩道等で京野菜を直売する際の道路交通法の規制緩和

○京のまちなか農地の保全（生産緑地の保全）

＜多様な公益的機能を有する生産緑地の機能増進＞

環境保全活動や生物多様性維持活動への活動交付金の創設

＜担い手への農地集積による生産緑地の有効活用＞

生産緑地における利用権設定等促進事業の市街化調整区域への適用拡大〔＝相続税納税猶予の特例適用〕

＜土地改良区財産の有効活用の推進＞

土地改良法における営利事業の規制緩和など

○京野菜市民農園の開設推進

＜京野菜市民農園の開設による都市の農地保全と市民が農業にふれる
機会の創出＞

市民農園開設のために京都市が借り受けた生産緑地に対する相続
税納税猶予の特例適用

京の農林業が目指すべき未来像

京の森・木のまち創造プロジェクト

これまでの本市の取組

○伝統文化の森推進事業

- ・東山風景林を活動拠点として、市民や社寺等の参画による森林の保全・整備等のモデル活動を展開
(市民フォーラムの定期開催、四季の移ろいを感じられる森づくり、商店街やホテルでのナラ枯れ木の薪利用等)

○地産地消の推進

- ・市独自の京都市域産材「みやこ杣木」認証制度を創設し、地域産木材の普及啓発を展開、また小学校等公共施設への積極的な活用推進
- ・リフォーム等における「みやこ杣木」の普及・啓発を行う「京の山杣人工房」を各行政区(11箇所)に設置

○森林バイオマス資源活用事業・木質ペレットストーブ普及促進事業

- ・地球温暖化対策として、森林資源を生かす木質ペレット製造施設の整備、木質ペレットの普及啓発及び公共施設への木質ペレットボイラー、ストーブの積極的な導入の推進



京都伝統文化の森推進協議会による森林保全活動



京の山 杣人工房
「まちの中の森の窓口」



京都市地域産木材認証
マーク「みやこ杣木」



木質ペレットの
普及啓発イベント

次スライドに続く

製造された
木質ペレット

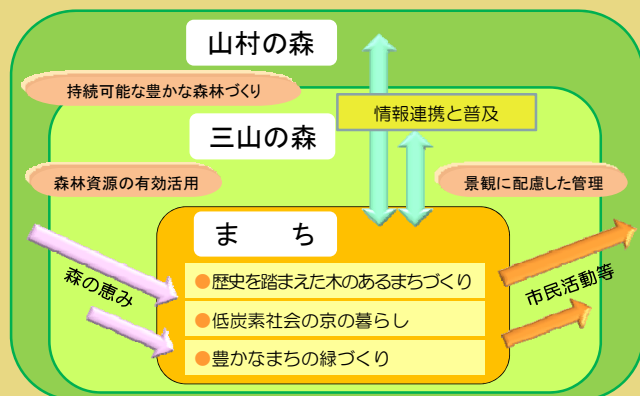
今後の京都市の取組方向

○京都三山伝統文化の森創造

- ・市・社寺・民間事業者の共汗による三山の森の資源活用(炭等)と景観保全活動の推進
- ・郷土に自生する在来種の苗木(地域性苗木)の生産供給体制の整備及び天然林施業の推進

○京の木の文化創造

- ・地域産木材の積極利用及び再生可能エネルギーの義務化検討
- ・地域産木材の民間住宅等への利用促進のための木材ストック情報システム(プラットフォーム)整備



「まち～三山の森～山村の森」の関係構築のイメージ

提案プロジェクトと国に求める 特例措置・支援措置

○京都三山伝統文化の森創造

＜マツ枯れ, ナラ枯れ対策＞
伐採時の地権者同意を不要とする規制緩和

＜景観保全のための天然林施業の推進＞
協定締結を前提とした税制優遇, 財政支援

○京の木の文化創造

＜地域産木材を使用した住宅建築の促進＞
一定以上の地域産材利用の住宅等建築物への財政支援

＜木質ペレットの利用促進＞
ペレットボイラー導入への税制優遇, 規制緩和, 財政支援

京の農林業が目指すべき未来像